

西柴防災ニュース

西柴団地自治会防災部

横浜市金沢区西柴四丁目1-11

台風シーズン到来！いま、私たちができること

ホームページでもご覧いただけます。

全国で激甚化する大雨や台風。ここ西柴でも他人事ではありません。

今回は、いざという時に慌てないための『気象警報の最新ルール』、『西柴の危険スポット』、

『事前に準備しておくこと』を特集します。

住みよい街 西柴団地



I. 『気象警報の最新ルール』（出典：横浜市金沢区ホームページ、気象庁ホームページ）

令和8年5月29日より、防災気象情報の運用が大きく変わりました。「新たな防災気象情報」では、河川氾濫（※1）、大雨、土砂災害、高潮に関する情報に、レベル1から5の「レベル」が付いて発表されるようになります。

金沢区では、レベル4危険警報（大雨危険警報、土砂災害危険警報、高潮危険警報）の発令時、かつ、被害を及ぼす可能性がある場合に避難指示を発令し、避難場所を開設します。

状況に応じて、レベル3、またはレベル4で避難行動（※2）を開始してください。

（※1）金沢区には防災気象情報の河川氾濫にあたる対象河川はありません。

（※2）避難行動は、避難場所へ移動することに限りません。災害リスクのある区域から安全な場所へ移動する「立ち退き避難」が基本ですが、状況によっては、自宅の上階へ移動するなど建物内で安全を確保する「屋内安全確保」も有効な避難行動の一つです。

5段階の警戒レベルと防災気象情報

気象状況	気象庁等の情報		市町村の対応	住民がとるべき行動	警戒レベル
災害の切迫・発生	キキクル 災害切迫	河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮 レベル5特別警報 (警戒レベル5相当情報)	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	命の危険 直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	5
2時間～0時間程度前	危険	レベル4危険警報 (警戒レベル4相当情報)	避難指示 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	危険な場所から全員避難 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	4
数時間～3時間程度前	警戒	レベル3警報 (警戒レベル3相当情報)	高齢者等避難 第3次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人にも必要に応じ、首段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	3
半日～数時間前	注意	レベル2注意報 (警戒レベル2)	第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制) 第1次防災体制 (連絡要員を配置)	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	2
数日～約1日前		早期注意情報 (警戒レベル1)	心構えを一段高める 職員の連絡体制を確認	災害への心構えを高める	1

市町村は、防災気象情報などを参考に避難情報を発令

Ⅱ.『西柴の危険スポット』（出典：横浜市行政地図情報提供システム）

Ⅰ. 西柴地区の【内水】浸水想定区域



◎色分けの意味

想定条件：1 時間で 153mm の降雨（想定最大規模降雨）

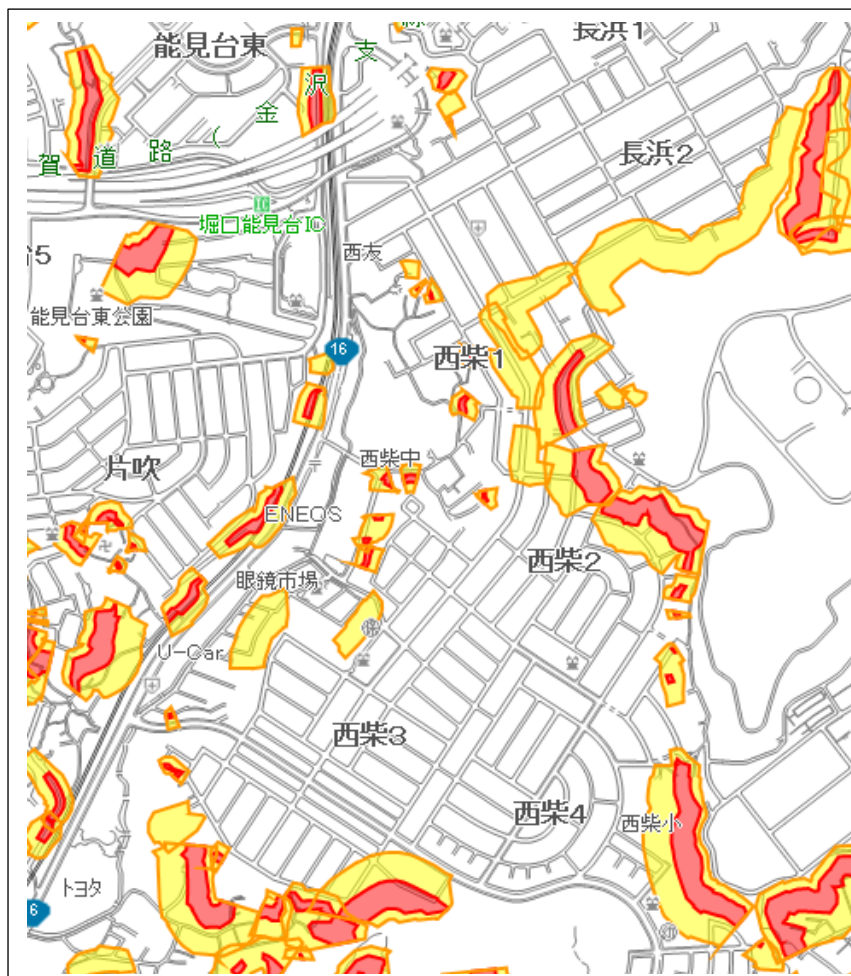
色	浸水の深さ(目安)	危険度と生活への影響
薄いピンク	0cm ～ 2cm 未満	水たまりができる程度です。
黄色	2cm ～ 20cm 未満	くるぶしが浸かるくらいです。道路が冠水し始めます。
薄い緑	20cm ～ 50cm 未満	すねから膝下あたりまで浸かります。20cm を超えると、一般的な住宅の床下浸水が始まり、車はマフラーが水に浸かって動けなくなるリスクが高まります。
水色	50cm ～ 1.0m 未満	大人の太ももから腰あたりまで水が来ます。床の上まで水が浸入(床上浸水)し、大人の歩行での避難もかなり困難(危険)になります。
ピンク	1.0m ～ 2.0m 未満	1 階が完全に浸水し、大人の背丈近く(またはそれ以上)になります。歩行避難は不可能です。
濃い紫	2.0m 以上	1 階の天井を超え、2 階の床まで水が達する非常に危険な状態です。

◎「内水（ないすい）」とは？

河川の堤防が決壊して水が流れ込んでくる「外水（洪水）」とは異なり、「下水道や側溝の排水能力を上回る大雨が降り、街の中に水があふれてしまう現象」のことです。近くに大きな川がなくても、周辺より土地が低い場所（西柴地区であれば、坂の下の平地や窪地など）では発生しやすくなります。

下記地図上で、水色、ピンク、濃い紫になっているエリアにお住まい、または避難経路が含まれている場合は、大雨の際に早期の垂直避難（建物の 2 階以上へ上がる）や早めの避難行動が必要になる目安として捉えてください。

2. 西柴地区の【土砂災害】浸水想定区域



【体験談・事例紹介】

2 ページ目で紹介した事例を含め、内閣府が提供している「一日前プロジェクト」にエピソードが多数掲載されています。

内閣府ホームページ
「一日前プロジェクト」



また、横浜市のホームページには、「災害時のペット対策（風水害）」について掲載されています。避難場所へ同行避難する場合の注意点など掲載されていますので、事前に確認し、備えておくことをおすすめいたします。

横浜市ホームページ
「災害時のペット対策
（風水害）」



◎色分けの意味

色	区域の名称	危険度と意味(取るべき行動)
黄色	土砂災害警戒区域 (通称:イエローゾーン)	「土砂災害が発生した場合に、住民の生命または身体に危害が生じる恐れがある区域」です。大雨の際には土砂が流れ込んでくるリスクがあるため、警戒レベル 3 や 4 が発令されたら、安全な場所への「早期の立ち退き避難」が必要です。
赤	土砂災害特別警戒区域 (通称:レッドゾーン)	「イエローゾーンの中でも特に危険で、土砂が直撃して『建物が破壊され』、住民の生命に大きな危険が生じる恐れがある区域」です。ここに指定されている場所は、崖崩れなどが起きた際に木造家屋だと押しつぶされる(倒壊する)可能性が極めて高いため、大雨の際は「崖から離れた頑丈な鉄筋コンクリート造の建物の 2 階以上にいるか」「前もって完全にそのエリアから退避する」必要があります。

◎ワンポイント

- 豪雨の中、夜間に屋外を移動するのは命に関わるリスクがあります。危険な場所にいる場合は、「レベル 4（避難指示）」が出る前、あるいは明るいうちの自主的な避難を心がけましょう。
- 気象情報や避難所設置など、情報・通知サービスを確認するようにしましょう。
- **西柴地区の風水被害時の避難場所は、西柴中学校です。**その他金沢区の避難場所をいくつか事前に確認しておくようにしましょう。

Ⅲ.『備えておきたいこと』（出典：気象庁ホームページ）

台風や大雨は、毎年大きな災害をもたらします。警報などの防災気象情報を利用して、被害を未然に防いだり、軽減することが可能です。テレビやラジオなどの気象情報に十分注意してください。台風や大雨の危険が近づいているというニュースや気象情報を見たり聞いたりしたら、災害への備えをもう一度確認しましょう。

また、いざという時には、周囲の人にも声をかけ、躊躇せず避難しましょう。

1. 家の外の備え

大雨が降る前、風が強くなる前に行いましょう。

- 窓や雨戸はしっかりとカギをかけ、必要に応じて補強する。
- 側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておく。
- 風で飛ばされそうな物は飛ばないように固定したり、家の中へ格納する。



2. 家の中の備え

●非常用品の確認

・懐中電灯 ・携帯用ラジオ（乾電池） ・救急薬品 ・衣類
・非常用食品 ・携帯ボンベ式コンロ ・貴重品など

●室内からの安全対策

飛散防止フィルムなどを窓ガラスに貼ったり、万一の飛来物の飛び込みに備えてカーテンやブラインドをおろしておく。

●水の確保

断水に備えて飲料水を確保するほか、浴槽に水を張るなどして生活用水を確保する。



3. 避難場所の確認など

- 土砂災害や洪水災害の危険性が認められる場所を、市町村等のハザードマップで確認しておく。
- 学校や公民館など、避難場所として指定されている場所への避難経路を確認しておく。
- 普段から家族で避難場所や連絡方法などを話し合っておく。
- 避難するときは、持ち物を最小限にして、両手が使えるようにしておく。



□ リュックサック

食料品等

- 飲料水
- 乾パンやクラッカーなど
- レトルト食品、缶詰
- 粉ミルク、哺乳ビンなど

日用品

- ナイフ、缶切り
- 鍋や水筒
- 懐中電灯
- ラジオ
- 電池
- ロープ
- マッチやライター
- 使い捨てのカイロ
- ティッシュなど
- 筆記用具
- ごみ袋

その他

- 防災頭巾やヘルメット
- 予備の眼鏡など
- 地図

医薬品等

- 救急医薬品
- 常備薬
- マスク
- 紙おむつ
- 生理用品

貴重品、お金

- 現金（小銭も）
- 預金通帳など
- 印鑑
- 健康保険証など
- 身分証明書

衣服

- 下着
- タオル
- 寝袋
- 雨具
- 軍手
- 靴



◎防災気象情報の主な入手方法（出典：気象庁「大雨や台風に備えて」）

気象庁 ホームページ	国土交通省 川の防災情報	気象会社の情 報サービス	キキクルの 通知サービス	横浜市防災 情報ポータル	横浜市避難 ナビ
---------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-------------



金沢区に避難指示が発令された場合の避難場所

- 富岡並木地区センター
- 西柴中学校
- 釜利谷東小学校
- 六浦地区センター
- 関東学院大学ベンネットホール（4階）

レベル5 特別警報が発表され、かつ、区役所の判断により、左記5か所の避難場所に加えて追加開設される場所

- 能見台小学校
- 並木中学校
- 金沢区役所

（出典：横浜市金沢区ホームページ）



避難所掲載